日本看護医療学会雑誌　投稿規定

1. 本誌投稿者は、原則として著者及び共著者すべて、本学会員とする。但し、編集委員会により依頼した原稿はこの限りでない。
2. 原稿は**下記の論文種別による内容であり**、刷り上がりで制限頁数以内とする。その掲載料は有料とし、別途に定める。
   論文種別：内容と制限頁数（要旨、図表を含む）。原則として、すべて和文要旨（400字程度）をつける。
   オリジナル・アーティクル：独創的で新しい研究成果を記述した研究論文。学術上の価値および有用性があり、看護学および医療の発展への貢献が期待できるもの。和文要旨に加え、英文抄録（250語程度）をつける。10頁
   短　　報：オリジナル・アーティクルと同じ性格で、速報的に書かれたもの。5頁
   総　　説：看護・医療・福祉等に関連する諸分野の特定のテーマについて文献レビューによる学問的状況の概説。技術的価値と有用性および信頼性を備えたもの。10頁
   資　　料：看護・医療・福祉に関連する諸分野の研究・実践に資すると認められるもの。10頁
   原稿はA4判1600（40×40）で刷り上がり1頁とする。図表は1点が刷り上がり4分の1頁とする。但し、編集委員会が認めた場合は、この限りでない。
3. 別刷については、予め著者より申し受けて実費を著者負担とする。
4. 図表はA4判用紙にトレースした原図を添える。また、印刷業者でトレースが必要になったときは実費を徴収する。
5. 原稿には、所定の表紙を付け、表題（和文、英文）、著者全員の氏名（ローマ字名併記）・所属機関（英文併記）・会員番号、代表者の氏名および連絡先（住所、電話番号、FAX番号、E-mailアドレス）、キーワード5つ以内（英単語表記）、希望する原稿種別、本文・図表・写真の枚数、別刷り希望数、利益相反および外部資金について記入する。
6. 投稿原稿は、表紙、本文、図表、写真等のオリジナル原稿1部および所属・氏名・会員番号・連絡先を除いた査読用コピー3部を提出し、学会ホームページからダウンロードして著者が署名（自筆）および捺印をした宣誓書一部を同封する。デジタルデータは最終修正時に提出する。
7. 投稿原稿の採否及び種別については、編集委員会で決定する。なお、原稿は原則として返却しない。
8. 校正に当たり、初校は著者が、2校以後は著者校正に基づいて編集委員会が行う。なお、校正の際の加筆は一切認めない。
9. 原稿執筆要項は、別に定める。
10. 著作権については、会員の権利保護のために、掲載された原稿の版権は本学会に属するものとする。帰属する資料を引用するときは、著者がその許可手続きを行う。
11. 原稿送付先
    〒461-8673　名古屋市東区大幸南1-1-20
    名古屋大学大学院医学系研究科　総合保健学専攻看護学コース内
    日本看護医療学会編集委員会　委員長　宛
    なお、封筒の表には、「日看医誌原稿」と朱書し、書留郵便で郵送する。
12. この規定は1999年10月2日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2001年9月29日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2003年9月27日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2005年10月1日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2006年10月7日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2007年10月6日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2009年10月3日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2011年10月1日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2014年10月1日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2015年10月10日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2019年9月21日より発効する。
    この規定は一部改訂につき、2022年5月21日より発効する。

Presented by Medical*Online

日本看護医療学会雑誌　原稿執筆要項

1. 原稿につける表紙は本誌掲載の書式をコピーまたは本学会ホームページからダウンロードする。
2. 原稿はA4判縦置きに1600（40×40）字の横書きとし、本文に頁数を明記する。
3. 当用漢字，新かなづかいを用い、ワードプロセッサーによる印書とする。
4. オリジナル・アーティクルの構成は、Ⅰ．緒言，Ⅱ．方法，Ⅲ．結果，Ⅳ．考察，Ⅴ．結論，Ⅵ．文献，とし、項目分けは、1. 2. 3.･･･，1）2）3）･･･，Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ･･･の区分とする。
5. 数字は算用数字を用い、単位や符号は慣用のものを使用する。特定分野のみで用いられる単位，略号，符号や表現には註書きで簡単な説明を加える。なるべく国際的な共通語を使用する。すべての単位はSI単位とし、次のようなものを用いる：kg, mg, ng, Eq, mm, ml, kcal, ℃, min 等。単位にピリオドは不要。
6. 図表，写真等は、それを説明する文章の末尾に（表1）のように記入し、更に本文とは別に挿入希望の位置を原稿の欄外に（表1）のごとく朱書する。図表は、原稿本文とは別にまとめて、巻末に添える。
   図表の表題は、原則として、図ではその下部、表ではその上部に明示する。
7. 利益相反
   利益相反（COI）については、謝辞などの箇所に次の内容を記載する。1）COIがある場合には、その内容を記載する。2）COIがない場合は、「開示すべきCOI状態はない」などを記載する。
8. 文献記載の様式
   文献は，本文中に，著者名，発行年次を括弧表示し，本文原稿の最後に，著者名のアルファベット順に整理して記載する。著者名は，本文中では文章に組み込む場合は筆頭著者のみで「○○ら(2022)」，括弧内に入れる場合は筆頭著者のみで「(○○ 他，2022）欧文文献の場合は（○○ *et al.*, (2022))」とする。
   文献リストでは，4名以上の場合は最初の3名を記載し，以下「他」（欧文文献の場合は「*et al.*」）とする。雑誌名は省略せずに記載する。
9. 投稿前に本誌掲載のチェックリストを用いて内容を確認する。

[記載方法の例示]

※雑誌の場合；著者名*（発行年）：論文名，雑誌名，巻(号)，頁．の順に記載する。

*和名は姓名。欧文名は姓のあと一字空けて名のイニシャル，そのあともしあればミドルネームのイニシャル。

林　美子，中根美智子（1998）：動脈注入化学療法を受ける患者の看護，臨床看護，25(2)，234-238.

Koyano W. (1989): Japanese attitude toward the elderly: A review of research findings, Journal of Cross-Cultural Gerontology, 4, 335-345.

※単行書の場合；著者名（発行年）：書名，引用頁，発行所，発行地．の順に記載する。

見藤隆子（1993）：学問としての看護，108，医学書院，東京．

Kolb D.A. (1984): Experiential learning-Experience as the source of learning and development, 39-60, Prentice-Hall, New-Jersey.

（分担執筆）；

渡辺孝子（1998）：告知とインフォームドコンセント，がん看護学（季羽倭文子，他 編），84-91，三輪書店，東京．

Redman B.K. (1993): Assessment of motivation to learn and the need for patient education: The Process of Patient Education (7th ed), p.34, C.V. Mosby, St Louis.

※訳書の場合；原著者（原書の発行年）／訳者名（訳書の発行年）：書名，頁，発行所，発行地．の順に記載する。

Rubenfeld M.G., Scheffer B.K. (1995)／中木高夫，石黒彩子，水渓雅子 監訳（1997）：クリティカルシンキング　看護における思考能力の開発，131-152，南江堂，東京．

9. 原則として，またオリジナル・アーティクルに際しては必ず，250語程度の英文抄録（Abstract）及び，その和文（400字程度）を付ける。
10. 英文表題は，最初（文頭）及び前置詞，冠詞，接続詞以外の単語の最初の文字を大文字とする。
11. 掲載料は2000円／頁（刷り上がり）とする。
12. この執筆要項は2023年6月3日より発効する。

Presented by Medical*Online

日本看護医療学会雑誌　投稿原稿表紙		
和文表題		
英文表題 (各単語の頭文字を大文字とする)		
著者氏名(日本語/英語)	所属機関(日本語/英語)	会員番号
代表者の連絡先		
氏名		
住所		
電話		
Eメールアドレス		
キーワード(5つ以内)		
キーワード(英語)		
希望する原稿種別	□オリジナルアーティクル　□短報　□総説　□資料	
本文、図表、写真の枚数	本文[　　]枚,　図[　　]枚,　表[　　]枚,　写真[　　]枚	
別刷を希望する場合	別刷り[　　]部希望	
利益相反開示	□本研究/論文には開示すべき利益相反は無い □本研究/論文には開示すべき利益相反がある[詳細は別紙添付すること]	
外部資金の有無	□無し　□本会助成金 □その他の助成金[　　]	
著者氏名、所属先の欄は著者全員について、人数に応じて追加記載してください。		
・□に☑、または■をする。[　　]内は具体的に記述する。		
・投稿原稿は、表紙、本文、図表、写真等のオリジナル原稿1部、および太枠内の所属・氏名・会員番号・連絡先を除いた表紙、本文、図表、写真等の査読用コピー3部を提出する。査読用コピーの本文内に、研究倫理審査委員会名や、謝辞に組織や名前の記載などがある場合は記載せずに伏字や記号にする。デジタルデータは最終修正時に提出する。		

Presented by Medical*Online

日本看護医療学会雑誌　投稿宣誓書

日本看護医療学会理事長殿

私（　　）が本日投稿する論文
「　　」においては、

多重投稿*していないこと、及び、共著者全員が研究実施と論文作成に実質的な貢献*をしたことを誓います。

*多重投稿および実質的な貢献の定義については「医学雑誌掲載のための学術研究の実施、報告、編集、および出版に関する勧告」
https://www.honyakucenter.jp/usefulinfo/pdf/ICMJE_Recommendations_2017.pdf　に準じます。

年　　月　　日

著者全員（筆頭著者含む）の自署・捺印

_____印　　_____印

_____印　　_____印

_____印　　_____印

_____印　　_____印

Presented by Medical*Online

【重要】編集委員会からのお知らせ

このたび、編集委員会では投稿規程・執筆要項の一部改定と併せて、投稿に際して「自己チェックリスト」を作成しました。学会HPからダウンロードできますので、ぜひご活用下さい。

日本看護医療学会　投稿論文自己チェックリスト

1. 原稿の内容は他の出版物にすでに発表・投稿されていない.
2. 著者はすべて本学会員である.
3. 共著者全員に同意を得ている.
4. 倫理的配慮を要する研究はその内容が記載されている.
5. 希望する原稿の種類によって規定された原稿枚数の制限範囲内である.
6. 投稿原稿の表紙は所定の書式を用い、次の項目を記載している.
   - 表題
   - 英文表題（各単語の頭文字を大文字とする）
   - 著者名（ローマ字氏名併記）
   - 所属機関（英文併記）
   - 会員番号（共著者全員）
   - 代表者の連絡先
   - キーワード5つ以内（英単語併記）
   - 希望する原稿種別
   - 本文，図表，写真の枚数
   - 別刷り希望数
   - 利益相反および外部資金の有無
7. 原稿はA4版縦置き横書きで1ページ40字×40行で記述している.
8. 本文中にページ番号を付けている.
9. 図表・写真は巻末に添えている.
10. 本文原稿欄外に図表・写真の挿入希望位置を朱書きしている.
11. 表題は図の場合は下部，表の場合は上部に明示している.
12. 本文中の文献の引用では著者名（姓のみ），発行年次を括弧表示している.
13. 文献リストは著者名（姓）のアルファベット順に列記している.
14. 文献の共著者は3名まで表記している.
15. 文献の種類による記載方法は投稿規定に従っている.
16. 和文要旨400字程度（オリジナル・アーティクルには加えて英文抄録250語程度）を付けている.
17. 英文はnative checkを受けている（チェック者・機関名の証明をつけている）.
18. 原稿は4部（正本1部，副本3部）を準備している.
19. 副本3部は氏名，所属，会員番号，連絡先など投稿者を特定できるような事項を取り外している.
20. 著者全員が署名および捺印した宣誓書を同封している.
21. 著者全員が「論文投稿ハンドブック」を読んだ.

Presented by Medical*Online